北海道（十勝）と静岡県の「互産互生（消）」プロジェクト

きっかけは....

広域連携による、美しい景観づくり、魅力的な観光空間づくり、個性ある地域づくりを目指す

①「十勝シーニックバイウェイ」と「日本風景街道（静岡）」の交流

～ シーニックバイウェイ北海道 ～

地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、個性的で活力ある地域づくり、景観づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取り組みです。

～ 日本風景街道 ～

郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以って、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とします。

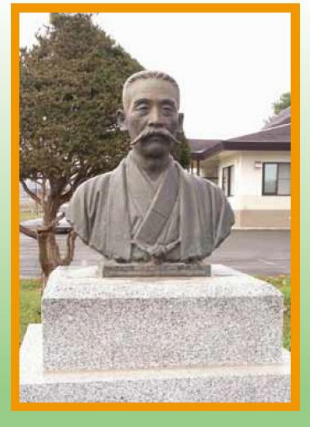
②「地縁」も

依田 勉三

静岡県で結成された晩成社の副社長。一八八三(明治十六)年に晩成社移民団を率いて北海道十勝地方に入植し、牛馬の飼育改良や各種作物の試作、水田開発などを行ったとともに、教育・交通・宗教など様々な分野に関わり生涯を十勝開拓に捧げる。

二宮 尊親

二宮尊徳(金次郎)の孫。静岡県でも広く知られる二宮尊徳の「報徳」思想―至誠・勤労・分度・推譲―を元に北海道十勝地方豊頃町の開拓に励む。



依田勉三氏は、静岡県の伊豆、松崎町の出身で、北海道開拓のために設立した「晩成社」本社があった。また、二宮尊親氏は、二宮尊徳翁の孫で「報徳」の精神をもって豊頃町の開拓にあたった。静岡県も報徳活動が活発であり、掛川市には「大日本報徳社」がある。このように、北海道十勝と静岡県は、北海道開拓期からの地縁がある。

③そして、「互産互生（消）」へ

「ひと」と「もの」を北海道と静岡の緯度の違いを　活かして交換、さらに「ライフスタイル」の交換へ

ひと：サイクルツーリズム（季節の交換）

もの：お互いの地域に無い産品の交換（例えば、お茶と乳製品）

ライフスタイル：お互いの地域での「ちょっと暮らし」の交換

帯広日新聞

ハルニレの木の前を出発する自転車ツアー参加者

自転車で十勝満喫

静岡の参加者ら　最長305キロ走破

豊頃

【豊頃】町内を中心に十勝管内を巡り、襟裳岬をゴールとする自転車ツアー「ゆるゆる十勝自転車の旅」が15、17日に行われた。静岡県と道内の31人が参加、夏の十勝の景観を楽しみながら、最長約305キロのコースを駆け抜けた。

町商工会などによる「ふるさと観光プロジェクト検討委員会」（会長・松原敏行町商工会長）が主催。昨年末の2日間は、同町十会が主催商工会連合会（東京）の補助を受けたこのふるさと観光プロジェクトの一環として、町内で観光モニターツアーを開催。補助金は昨年度で終了したが、サイクルツーリズムの振興を目指し、今回から広域のコースを設定して本格的に取り組んだ。

コースは時速25キロ程度で「ガンガン走る人向け」の延長305キロと、同15キロ程度でゆるゆる走る人向けの延長145キロの2種類。ガイドスタッフを含めた参加者15日、JR帯広駅前を出発して中札内、更別を巡り、豊頃に到着。16日は豊頃から大樹、広尾を走り、17日は広尾から襟裳岬へ向かった。各地で特産品などを使った食事も提供された。

16日朝は豊頃のハルニレの木の前を出発、静岡県掛川市で自転車店を経営し、3年連続で参加した山崎清一さん（同

無農薬のマイしょうゆ

静岡ー十勝「地縁店」展開プロジェクト
報　告　書
＜豊頃町＞

～ 実 施 主 体 ～

富士山静岡空港都市交流ネットワーク

NPO法人地域づくりサポートネット

（一社）シーニックバイウェイ支援センター

1. 目　的

- 十勝の開拓者である依田勉三氏、十勝豊頃町の開拓者である二宮尊親氏は静岡県に縁のある人物であり、北海道十勝と静岡県は「地縁」を持つ。
- この「地縁」をもとに、ヒト・モノ・情報をお互いに生かし合う「互産互生」の地域づくりの一環として、「地縁店」展開プロジェクトを実施。
- 今後はツーリズムなど、両地域の交流を拡大していくことを目指す。

- 実施母体

シーニックバイウェイ北海道十勝シーニックバイウェイ3ルート

日本風景街道「なごみの伊豆　なごみの道」

富士山静岡空港都市交流ネットワーク

２．販売期間・販売場所

期　間　　平成26年3月1日（土）～9日（日）

静岡販売場所

下田市	「道の駅」開国下田みなと よろず交流館「らくら」
松崎町	「道の駅」花の三聖苑伊豆松崎
掛川市	これっしか処

十勝販売場所

鹿追町	道の駅しかおい
帯広市	とかちむら産直市場
大樹町	道の駅コスモール大樹

3. ポスター・POP（十勝版）

ポスター2種類（十勝紹介・地縁店説明）

商品POP

4. 販売の様子（静岡）

掛川市：これっしか処

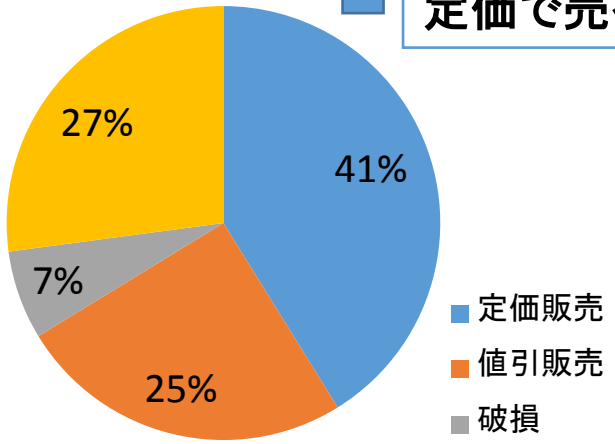
下田市：道の駅開国下田

下田市：よろず交流館「らくら」

松崎町：道の駅花の三聖苑伊豆松崎

5. 十勝商品販売結果

十勝商品販売結果



※輸送途中に一部常温商品が破損

定価で売行きが良いもの（50%以上）

商品名	定価%
牛酪飴	100
ハスカップチーズケーキ	83
蝦夷鹿モルタデッラ	**80**
どら焼き各種	70
白蛇クッキー	60
キレイマメ素焼き黒豆	60
蝦夷鹿1ヵ月半熟成サラミ	**60**
チーズ味噌漬け	57
わかさぎ佃煮小	**56**
野菜フレーク各種	50

値引販売で売れたもの（50%以上）

商品名	値引%
煮豆（金時豆）	60
煮豆（黒豆）	60
そのまま食べる十勝の豆	60
ししゃも	60
丸筒羊羹各種	53
とうふくんジャーキー	50

売れ残り商品（50%以上）

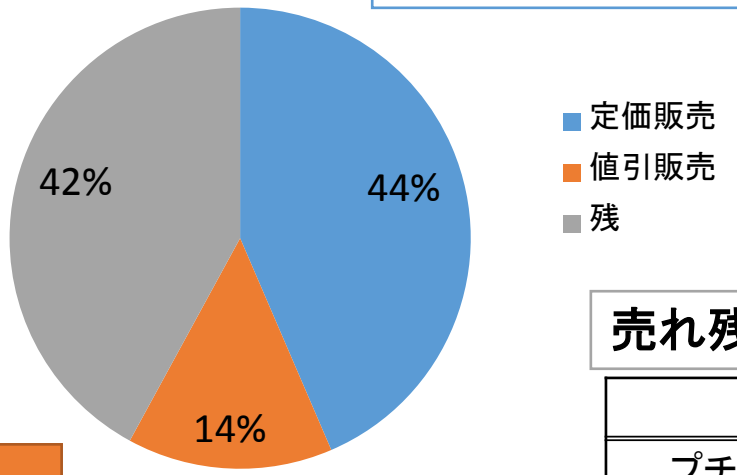
商品名	残%
手作りようかん	**80**
なたね油　＜生食用＞	**67**
十勝野黒にんにく　バラ	60
なたね油　<天ぷら・炒め物用>	**56**
福神漬け	**53**
きぶどう液	50

※完売した商品（定価＋値引き）

煮豆（金時豆）
煮豆（黒豆）
とん田ぶた丼のタレ
どら焼き各種
牛酪飴

6. 静岡商品販売結果

静岡商品販売結果



定価で売行きが良いもの（50%以上）

商品名	定価%
トコロテン	100
焼のり	100
金目缶油漬	100
おつまみ金目スティック	95
オリーブ茶	70
ペリーの紅茶飴	70
わさびの茎漬け	67
焼き川のり	60
桜葉カステラ	60
金目缶オリーブ油	60
ひじき	50
さくらそば	50

値引販売で売れたもの（25%以上）

商品名	値引%
桜葉カステラ	40
ペリーティー	40
ハリスティー	40
金目缶水煮	40
オリーブ茶	30
わさびの茎漬け	27

売れ残り商品（50%以上）

商品名	残%
プチャーチンティー	80
もえぎリーフティ	74
桜葉クッキー（大）	70
ハリスの紅茶飴	70
キンメだま	70
もえぎティーバック	64
ペリーティー	60
ハリスティー	60
しょういんティー	60
ひじき	50
黒米うどん	50

※完売した商品（定価＋値引き）

オリーブ茶
トコロテン
桜葉カステラ
焼のり
おつまみ金目スティック
金目缶油漬

７．　検　証　（価格）

１．販売価格の設定が必要

２．輸送コストが課題

帯広→静岡間　商品１個当たりの送料

・常温：¥１２６円　（¥34,660円÷276個）

・冷蔵：¥　４８円　（¥10,258円÷215個）

・冷蔵：¥１００円　（¥ 9,980円÷100個）

→ロッドを大きくして輸送コストを抑制

３．価格と商品内容量

→半値で半数（例；シシャモ20尾→10尾）にする

８．　検　証　（商品）

１．売行きが良いもの

・その土地にはない珍しいもの・旬のもの

・価格・量が手頃なもの

・イメージが浸透しているもの

・移動中でも食べられるスイーツ

※土産物用パッケージ商品の売行きは良くない

２．常温・冷蔵・冷凍商品の集約化

３．試食販売の実施

・商品の味・食べ方に対する認知が必要

・レシピなどで魅力・手軽さをPR

５．賞味期限のながいものが扱いやすい

６．冷凍商品は持ち運びに不便

「互産互生」

こうふく観光プロジェクト（北海道十勝豊頃町）

※「こうふく」とは、「幸福」と「興復（農村復興）」の2つの意味を持ち、住む人や訪れる人が幸せになるとともに、町の産業の復興を目指す。

こうふく観光プロジェクト

（豊頃町商工会×シーニックバイウェイ北海道）

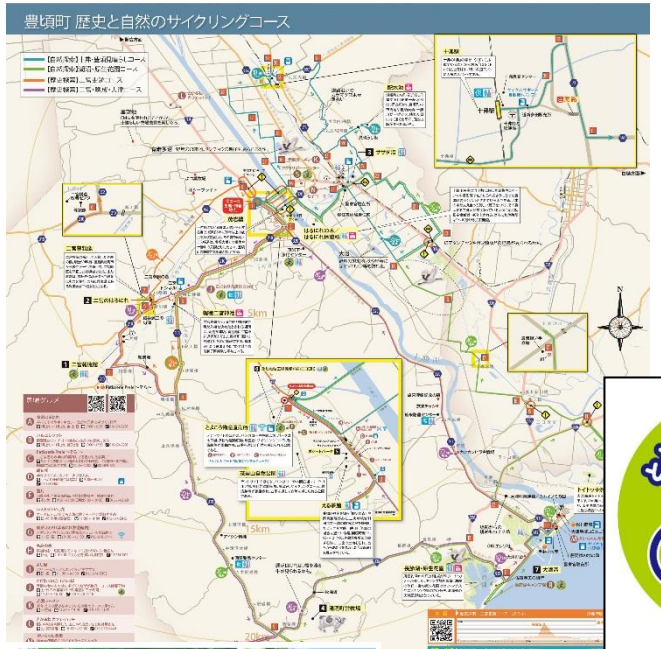
プロジェクト名	“こうふく”観光プロジェクト ～開拓者と一次産業による観光振興～
事業目的	・滞在型観光の実現による観光客の誘致 ・販売層の全国的な拡大による土産品及び豊頃町の知名度向上
背景	・～豊頃町の開拓精神：「報徳」のおしえ～町民憲章にも明記 ・開拓による酪農・畜産、沿岸域での漁業及びそれらの加工品の製造等を中心に町が発展
事業実施内容	Ⅰ　サイクリング等により、ゆっくりと地域資源を巡るための整備 Ⅱ　民泊及び産業体験等を用いたグリーンツーリズムの整備 Ⅲ　豊頃町の開拓精神の繋がりを活かした、静岡県を中心とした地域間交流の推進、販路拡大に伴う豊頃町及び土産品のPR・販売促進

サイクルツーリズム交流と受け入れ環境整備

【豊頃サイクリングマップ】
・修正
・規格：A2両面　カラー　地図折り、耐水紙
・配布予定箇所、主要観光施設、自転車ショップ
（札幌市内、帯広市内、豊頃町内、静岡）

【主要掲載内容】
・観光ポイント（24箇所）
・イベント情報（5イベント）
・飲食店・宿泊情報（20箇所）
・サポート自転車店情報（2店舗）
・レンタサイクル情報（7施設）

【サイクリングルート】 全6コース
◆町外エリアからのルート
・JR帯広駅～豊頃町
約56km、標高差約160m
・とかち帯広空港～豊頃町
約53km、標高差約170m
◆町内ルート
・自然探索　十沸・豊頃見晴らしコース
約37km、標高差90m
・自然探索　湖沼・原生花園コース
約100km、標高差約80m
・歴史探索　二宮史跡コース
約26km、標高差約90m
・歴史探索　二宮・晩成・大津コース
約85km　標高差90m



グリーンツーリズム×フィッシングツーリズム

【フィッシングツアーの実施】
・グリーンツーリズムのツアーについては、まず十勝川水系の豊かな水資源を活用したフィッシングツアーを実施した。
・フィッシングツアーは、こうふく観光プロジェクトのメンバーの口コミにより、参加者の募集を行った。
・6月26(金)～29(月)の3泊4日の日程で実施した。
・参加者は、静岡県5名、東京都2名、札幌市2名の計9名であった。
・加者が負担したが、宿泊施設は豊頃町の研修施設であるアグリサポートセンターを活用した。
・昼食時にはファームレストランであるこだわりの店　はらっぱに立寄った。

ツアー時の昼食（こだわりの店　はらっぱ）の様子

地元産品の相互販売

【静岡県掛川市】
H25からの実績や報徳等の繋がりを活かし実施
・これっしか処（掛川市新幹線駅構内）
平成28年1月23日（土）～25日（月）
・We+138Kakegawa（掛川市新幹線駅前）
平成28年1月23日（土）～24日（日）
（農産物販売等の観光農園）
【静岡県磐田市】
・白壁館
平成28年1月23日（土）～25日（月）
※実施は、豊頃町物産販路拡大協議会

We+138Kakegawaでの様子

静岡と豊頃・北海道のコラボ商品開発

静岡のキウイを雪氷冷熱による貯蔵で高付加価値化

次郎柿ようかん

ジャムと干し柿が
入った次郎柿のパイ

次郎柿と小豆のムース（上）

静岡森町の次郎柿と北海道のパテシエのコラボ商品

合同会社「互産互生機構」（静岡）

合同会社互産互生機構 設立に向けて

合同会社 互産互生機構 開設準備室
コンセプト株式会社 代表取締役 佐藤雄一
株式会社これっしかどころ 代表取締役 中田繁之
株式会社あらまほし 代表取締役 戸田佑也

1．設立の趣意

私たちは、地方都市間を互産互消ネットワークを形成し、都市間の“もの”と“人”の交流を拡大するとともに、地域経済を新しい次元で活性化するため、ローカル to ローカルの価値創造を担い、商流開発と商環境整備の機能を持った地域商社を設立します。

かつての日本は、海に暮らす地域のめぐみと、山に暮らす地域のめぐみを交換し合うことで経済循環が出来上がり、それぞれに無いものを補完し合う仕組みがありました。互いの地で産まれた豊かな食材による「地産地消」を基軸としながら、緯度と気候、地勢や風土の違いから、互いのエリアにないモノ・コトを消費し合い、生かし合う「互産互消」への道すじをつくり出していきます。

食のすべてが揃う地域など希少です。組み合わせ、交流し、豊かな食生活が実現できるならこれもまた素晴らしいことです。お互いのあるもの・ないものを認め合い、求め合い、活かし合う新たな地域間交流を「食＝フードの交換」を皮切りとし、互いの地域の魅力を通して人が行き交う「観光＝ツーリズムの交歓」、さらには互いの気候と風土で人が暮らし合う「生活＝ライフスタイルの交感」へとすすめていきます。

2．設立のための準備活動

（1）北海道、沖縄県、静岡県における販売調査および販売実証実験活動

沖縄県豊見城市瀬長島　ウミカジテラス 47 STORE
店舗、客層の調査および静岡食材の商品試験供給、緑茶試飲を伴う実験販売（4 月）

北海道河東郡音更町　ハピオ木野
店舗、客層の調査および静岡産品の販売プレゼンテーション、交渉活動（5～7 月）

北海道中川郡豊頃町　とよころ物産直売所
静岡産品の販売プレゼンテーション、交渉、コーナー開設にむけた調整活動（5～7 月）

北海道札幌市中央区狸小路　HUG マート
店舗、客層の調査および静岡産品の販売プレゼンテーション、交渉活動（5～7 月）

北海道札幌駅前地下歩行空間　クラシェ
掛川東山茶の試飲を伴う実験販売、スノーキウイの実験販売、マーケットの検証（5 月）

静岡県掛川市駅前　we+138 ストア（8 月）
北海道十勝産品と沖縄県うるま市産品の販売プレゼンテーション、交渉活動（6～8 月）

静岡県磐田市敷地　白壁館
店舗、客層の調査および北海道十勝産品の販売プレゼンテーション、交渉活動（6～8 月）

静岡市葵区安東　安藤米店
店舗、客層の調査および北海道十勝産品の販売プレゼンテーション、交渉活動（6～8 月）

北海道帯広市　北海道ホテル
静岡産品の販売プレゼンテーション、交渉、コーナー開設にむけた調整活動（7～8 月）

（2）設立と運営に関与する人材と組織構成

◎出資および社員就任予定者（五十音順）

國分裕正　株式会社街制作室 代表取締役（法人出資）
北海道札幌市大通西 6 丁目 10 番 11 号
http://www.machi.co.jp/

坂野真帆　株式会社そふと研究室 代表取締役（法人出資）
静岡県静岡市葵区安東三丁目 20 番 13 号
http://soft-labo.net/

佐藤雄一　コンセプト株式会社 代表取締役（法人出資）業務執行者 代表就任予定
静岡県掛川市城下 5 番地の 10
http://www.conception.co.jp/

田中孝治　地域産業研究所 所長（個人出資）
静岡県掛川市家代 380 番地の 11
http://sbcj-community.org/

爲廣正彦　株式会社更別企業 代表取締役（法人出資）
北海道河西郡更別村字更別南二線 92 番地 10
http://sarabetsu-kigyo.com/

知久利克　株式会社知久 代表取締役（法人出資）
静岡県浜松市西区桜台一丁目 2 番 1 号
http://www.chikuya.co.jp/

戸田佑也　株式会社あらまほし 代表取締役（法人出資）業務執行者
静岡県掛川市領家 965-2
http://aramahoshi.jp/

中田繁之　株式会社これっしかどころ 代表取締役（法人出資）
静岡県掛川市南 1 丁目 1 番 1 号
http://koresika.jp/

原　文宏　一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター 理事（法人出資）
北海道札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号
http://www.scenicbyway.jp/

平野正俊　キウイフルーツカントリーJapan 園長（個人出資）
静岡県掛川市上内田 2040
http://www.kiwicountry.jp/

（3）法人設立登記と活動予定

平成 28 年 9 月登記完了、発足、および活動開始
平成 28 年度は掛川市より推進業務を受託予定
受託内容は、マーケティング調査、互産互消の推進、ふるさと納税返礼品づくり等を予定